

フィレンツェ市特別出品作品



ジョルジョ・ヴァザーリ(アレツォ1511年ーフィレンツェ1574年)／ジョ
ヴァン・パッテスタ・ナルディーニ(フィエーゾレ1535年頃ーフィレン
ツェ1591年)

《闘う騎士たち》

1567年頃 油性乳剤で溶いたテンペラ／陶板(フレスコ壁画の模作)370×520mm
フィレンツェ、ヴェッキオ宮殿美術館
©"Firenze, Musei Civici Fiorentini - Museo di Palazzo Vecchio"

Giorgio Vasari (Arezzo 1511-Florence 1574), Giovan Battista Naldini (Fiesole
1535c.-Florence 1591)

Fighting Knights

c.1567 Oil Tempera Emulsion on Tile(a frescoe imitation) 370×520mm

Property of the Municipality of Florence, Palazzo Vecchio, Quartiere del Mezzanino,
Loeser Donation(Lunch room, east wall)

レオナルドとミケランジェロは、1503年頃、フィレンツェ共和国政府の依頼でシニョリーア宮殿(現ヴェッキオ宮殿)「大評議会広間」のためにそれぞれ《アンギアーリの戦い》と《カッシナの戦い》の壁画制作を開始した。1505年にミケランジェロが、翌年にレオナルドが相次いでフィレンツェを離れて壁画計画が頓挫した後、同広間は、1512年に復権したメディチ家によって護衛兵の宿舎に改造された。再度の追放を

経て1530年に最終的に帰還したメディチ家のもと、フィレンツェは君主国に変わる。第2代フィレンツェ公で後に初代トスカーナ大公となったコジモ1世は、エレオノラ・ディ・トレドとの結婚を機に宮殿を政庁舎から公邸に改築する大事業を始めた。1555年にヴァザーリの総指揮のもと、「大評議会広間」は500人の軍勢を招集できる「五百人広間」に改装され、メディチ家支配を称揚する装飾が施された。ヴァザーリはミケランジェロ、人文主義者ヴィンチェンツォ・ボルギーニ、そしてコジモ1世と協議を重ね、共和国時代の対ピサ戦争と、メディチ家に最終的な勝利をもたらした対シエナ戦争を対置させる壁画装飾案を構想した。1566年からまず西壁に対ピサ戦争に取材した《リヴォルノ包囲を解除するマクシミリアン1世》、《スタンパーチェ要塞の陥落》、《トッレ・サンヴィンチェンツォ付近で敗退するピサ軍》が、1570年から東壁に対シエナ戦勝を表す《ポルトエルコレの征服》、《ポルタ・カモッリア要塞の陥落》、《マルチャーノの戦い》が順次描かれた。壁画は、1572年

1月9日にコジモ1世の息子フランチェスコ1世の第2代トスカーナ大公就任式とあわせて除幕されている。

本作品はトッレ・サンヴィンチェンツォ近郊の戦いを表す西壁壁画中央部分の習作で、フレスコ壁画を想定して陶板のうえに着彩された。完成画面と同じく左から攻め込むフィレンツェ騎兵隊とピサ騎兵隊を衝突させる構図や、躍動的な馬の造形は、レオナルドが『*絵画の書*』67章で説き、『*アンギアーリの戦い*』で試みた激しい騎馬戦の描写を彷彿とさせることから、再装飾以前のある段階まで「大評議会広間」に残存したと推定される『*アンギアーリの戦い*』の未完の壁画、またはその下絵や模写が参照された可能性がある。

本作品は、伝統的にヴァザーリに帰属されてきたが、壁画共作者のナルディーニによると現在考えられている。ウフィツィ美術館素描版画室に所蔵される、同場面前景左側部分の習作素描も彼に帰されている(『*レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展*』図録、東京富士美術館、2015年、cat.37参照)。

ナルディーニは、ミケランジェロ、レオナルドそしてラファエッロの様式(マニエーラ)に由来するマニエリスム芸術第一世代を代表するフィレンツェの画家ポントルモの養子に12歳で迎えられ、その工房で学んだ。養父の死を機にローマで研鑽を積み、1564年にミケランジェロの葬儀のためフィレンツェに戻ると、「五百人広間」などシニョリア宮殿の絵画装飾に重用された。彼は後見人ボルギーニから人文主義教育を享受し、「五百

人広間」に隣接するフランチェスコ1世の「ストゥディオーロ(小書斎)」(1571-74)のために高度な学識に基づくパネル画を描いている。またサンタ・マリア・ノヴェッラ聖堂の『*降誕*』(1573)をはじめフィレンツェ内外に多くの祭壇画を残し、ポントルモ特有の鮮やかな色彩を用いた幻想的な図像とミケランジェロの筋骨隆々とした人体造形を統合した表現によって、フィレンツェにおける後期マニエリスム絵画の一翼をになった。

(執筆:新保淳乃)

【参考文献】

- Giorgio Vasari, *Ragionamenti del Signor Cavaliere Giorgio Vasari...sopra le invenzioni da lui dipinte in Firenze nel Palazzo di loro Altezze Serenissime con lo Ill.ed Etc. Signore D.Francesco Medici, Arezzo, 1762*
- Gerhard Gruitrooy, "A New Drawing by Giovanni Battista Naldini", *The J.Paul Getty Museum Journal*, vol.17(1989), pp.15-20
- Ugo Muccini, *The Salone dei Cinquecento of Palazzo Vecchio*, foreword by Antonio Paolucci, photographs by Raffaello Bencini, Firenze, Le Lettere, 1990
- Harvey Hamburgh, "Naldini's Allegory of Dreams in the Studiolo of Francesco de' Medici", *The Sixteenth Century Journal*, vol.27, no.3(Autumn, 1996), pp.679-704
- Donatella Fratini, "Due disegni di Giorgio Vasari provenienti dall'eredità del cavalier Francesco Maria Vasari per il Salone dei Cinquecento in Palazzo Vecchio", *Mitteilungen des Kunsthistorischen Institutes in Florenz*, 57.Bd., H.3(2015), pp.350-360
- Cecilia Frosinini, "Del cartone e della pittura nella *Vexata Quaestio della Battaglia di Anghiari*", *La Tavola Doria tra storia e mito*, a cura di C.Acidini e M.Ciatti, Firenze, Edifir, 2015, pp.23-34
- 『*レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展*』図録、東京富士美術館、2015/2017年

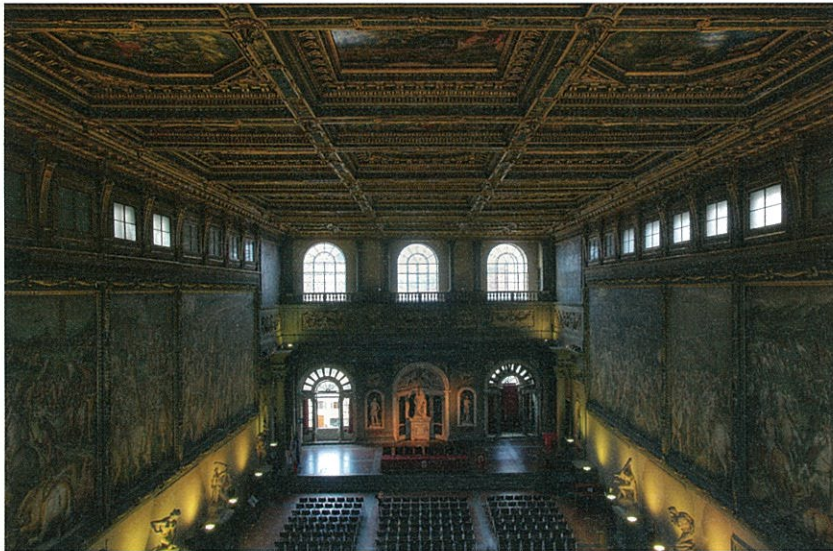


fig. 1
フィレンツェ、ヴェッキオ宮殿「五百人広間」内景
©Firenze, Musei Civici Fiorentini - Museo di Palazzo Vecchio